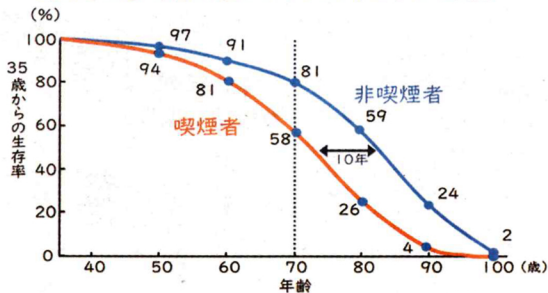


喫煙による生存率への影響

英国男性医師約35,000人の50年にわたる調査



Doll, R. et al.: BMJ 328(7455): 1519, 2004より引用

④ 喫煙者の寿命は...

人生100年時代の健康管理

桐生大学 桐生保健学部副学部長 山科 章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

前掲、非感染性疾患 (NCD) について、不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒

大気汚染などにより引き起こされる慢性疾患と紹介しました。NCDsはわが国の死因の84.8%を占めており、そのリスク要因として喫煙が最も多く、2007年の統計では年間13万人(全死上の12%)が、たばこによるがん、循環器疾患、肺疾患で死亡しているを紹介しました。

たばこには4000

種類以上の化学物質が含まれており、そのうち200種類以上は有害物質です。中でも、ニコチン、タール、一酸化炭素は三大有害物質です。

ニコチンは肺から速やかに吸収されて全身に広がり、全身の血管を収縮させます。脳に対しては血流を低下させるだけでなく、少量で興奮、大量では鎮静作用を示し、依存の原因物です。

タールは粘着性の茶色や黄色で、ヘンツビ、シシ、アミン類、ベンゼンなど数十種類の発がん物質を含んでいます。

一酸化炭素は赤血球

やたに吸収されて全身に広がり、全身の血管を収縮させます。脳に対しては血流を低下させるだけでなく、少量で興奮、大量では鎮静作用を示し、依存の原因物です。

タールは粘着性の茶色や黄色で、ヘンツビ、シシ、アミン類、ベンゼンなど数十種類の発がん物質を含んでいます。

一酸化炭素は赤血球

やたに吸収されて全身に広がり、全身の血管を収縮させます。脳に対しては血流を低下させるだけでなく、少量で興奮、大量では鎮静作用を示し、依存の原因物です。

保健・福祉

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

※今回は、喫煙者として、喫煙者は58人しか生存し